

而して、この心身の發達の兒童による相違を無視して、その心身に相應しない作業を課すると、その結果は、既に述べたような影響が、著しく負擔の過重な兒童にあらはれるのである。

故に、幼稚園に收容する兒童については、入園當時に精しい身體、精神の觀察をなし、この一助として、歩行、言語のはじめ、生齒、榮養の種類(母乳、牛乳等の別)及家族死亡の有無等をはじめとして、諸種の疾病就中、麻疹、百日咳、腫脹腺、恐怖症、胎毒、猩紅熱、デフテリア、又は怪我、火傷の如きについて、詳細の質問をして、その兒童の發育史を知るの要がある。

かくして、著しく發育狀況のわるいもの、例へば罹病の頻回のもの、歩行や言語の著しくおかれてゐるもの等は、或はその作業に於て、或はその遊戲や運動に於て一層注意して、以つて、小學校入學までには遺憾なく準備のできるようにし、更に就學年齢に達しても就學不適當と認めるような場合には、幼稚園自ら就學の猶豫をはかるようにしたいと思ふ。

かくて小學校に入學する前に、發育のおくれたものは勿論、普通のものも、充分の訓練ができ、學校

生活への順應をするに至れば、小學校における、種類の影響は、非常に減ずるよう考へられる。これが、幼稚園が、この中間學校の任務を果すように願ふ所以である。四月からはじまる學期は、近きにある。少しでも幼きもの、ために幸福な生活を祈る心に堪えない。(一、二、三)

### 鶯

### 天 行 生

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたの翼の動きで

東風コチを起して下さいな

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたの口から四方山ヨモギマへ

春のおとづれ知らせてよ

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたが飛べば梅は咲き

陽氣な春がついて来る